

資源管理・漁業経営安定対策のうち 漁業経営セーフティーネット構築事業

【3, 910百万円】

対策のポイント

燃油・配合飼料価格の高騰の影響を緩和するために、価格高騰対策の財源を拡充し、その安定的な実施を図ります。

<背景／課題>

- ・漁業・養殖業は支出に占める燃油費・配合飼料費の割合が高いことなどから、燃油・配合飼料の高騰が経営に大きな影響を与えます。
- ・燃油・配合飼料の価格は、中長期的には上昇基調にあると考えられることから、価格の高騰が経営に与える影響を緩和することが、漁業・養殖業経営の安定と水産物の安定供給を図る上で必要です。
- ・24年度に入り加入率が上昇し、漁業者・養殖業者の抛出分が国の抛出分を上回ると見込まれることから、国の抛出分を積み増すことにより、事業の安定的な実施を図ります。

政策目標

資源管理・漁業経営安定対策のもとで資源管理に取り組む漁業者による漁業生産の割合90%（34年度）

<主な内容>

漁業経営セーフティーネット構築事業

3, 910百万円

国と漁業者・養殖業者が積み立てている基金のうち、国が積み立てている分について、臨時積み増しを行います。

補助率：定額
事業実施主体：一般社団法人 漁業経営安定化推進協会

[お問い合わせ先：水産庁企画課 （03-6744-2341（直））]